

講 師 一 覧

講師氏名	現職	科目・項目番号、担当科目
	保有資格	
	実務経験	
谷崎 洋美 (専任・兼任)	常勤講師	1. 職務の理解 2. 介護における尊厳の保持・自立支援 3. 介護の基本 4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 5. 介護におけるコミュニケーション技術 6. 老化の理解 7. 認知証の理解 8. 障害の理解 9. こころとからだのしくみと生活支援技術 10. 振り返り
	介護福祉士	
	13年0か月	
坂本 まゆみ (専任・兼任)	非常勤講師	1. 職務の理解 2. 介護における尊厳の保持・自立支援 3. 介護の基本 4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 5. 介護におけるコミュニケーション技術 6. 老化の理解 7. 認知証の理解 9. こころとからだのしくみと生活支援技術 10. 振り返り
	介護福祉士	
	13年2か月	
上山 小百合 (専任・兼任)	非常勤講師	1. 職務の理解 2. 介護における尊厳の保持・自立支援 3. 介護の基本 4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 5. 介護におけるコミュニケーション技術 6. 老化の理解 7. 認知証の理解 8. 障害の理解 9. こころとからだのしくみと生活支援技術 10. 振り返り
	介護福祉士	
	9年0か月	
安藤 花 (専任・兼任)	非常勤講師	1. 職務の理解 2. 介護における尊厳の保持・自立支援 3. 介護の基本 4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 5. 介護におけるコミュニケーション技術 6. 老化の理解 7. 認知証の理解 9. こころとからだのしくみと生活支援技術 10. 振り返り
	介護福祉士	
	10年8か月	

寺田 由起子 (専任・兼任)	サービス提供責任者	23年11か月	1. 職務の理解
	介護福祉士		2. 介護における尊厳の保持・自立支援
神谷 奈緒 (専任・兼任)	非常勤講師	16年9か月	3. 介護の基本
	介護福祉士		4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
三輪 早和子 (専任・兼任)	非常勤講師	7年3か月	5. 介護におけるコミュニケーション技術
	介護福祉士		6. 老化の理解
安田 知子 (専任・兼任)	非常勤講師	20年6か月	7. 認知証の理解
	介護福祉士		8. 障害の理解
市岡 百合子 (専任・兼任)	非常勤講師	18年	9. こころとからだのしくみと生活支援技術
	介護福祉士		10. 振り返り

小田 桂子 (専任・兼任)	非常勤講師	7年3か月	1. 職務の理解
	介護福祉士		2. 介護における尊厳の保持・自立支援
			3. 介護の基本
成瀬 眞佐子 (専任・兼任)	非常勤講師	17年	4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
	介護福祉士		5. 介護におけるコミュニケーション技術
			6. 老化の理解
青木 よしみ (専任・兼任)	非常勤講師	13年1か月	7. 認知証の理解
	介護福祉士		8. 障害の理解
			9. こころとからだのしくみと生活支援技術
牧 良子 (専任・兼任)	非常勤講師	20年9か月	10. 振り返り
	介護福祉士		1. 職務の理解
			2. 介護における尊厳の保持・自立支援
辻 浩輝 (専任・兼任)	非常勤講師	18年2か月	3. 介護の基本
	介護福祉士		4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
			5. 介護におけるコミュニケーション技術
			6. 老化の理解
			7. 認知証の理解
			8. 障害の理解
			9. こころとからだのしくみと生活支援技術
			10. 振り返り

赤羽根 珠希 (専任・兼任)	非常勤講師	1. 職務の理解 2. 介護における尊厳の保持・自立支援 3. 介護の基本 4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 5. 介護におけるコミュニケーション技術 6. 老化の理解 7. 認知証の理解 8. 障害の理解 9. こころとからだのしくみと生活支援技術 (5) 快適な居住環境整備と介護 を除く
	看護師	
	介護 16年 看護 27年2か月	
(専任・兼任)	年 月 日	

注1 専任・兼任の区分は、申請者の機関の専任講師である場合のみ専任とすること。

注2 様式5（就任承諾書兼講師要件確認票）の内容をまとめて記載すること。したがって、資格欄は講師要件に規定されている資格のみを記載すればよく、実務経験については、講師要件で指定されている直接援助に従事した期間のみを記載すること。

記入例
(初任者研修)

講 師 一 覧

No. _____

講師氏名	現職	科目・項目番号、担当科目
	保有資格	
	実務経験	
〇〇 〇〇 (専任・兼任)	〇〇〇〇 介護福祉士 介護支援専門員 6年8か月	1. 職務の理解 2. 介護における尊厳の保持・自立支援 9 (4) 生活と家事 9 (5) 快適な居住環境整備と介護
表下の注1参照 (専任・兼任)	表下の注2参照 年 月	担当する科目名を記入してください。 ただし、初任者研修科目9の「こころとからだのしくみと生活支援技術」については、項目名を記入してください。
(専任・兼任)	年 月	
(専任・兼任)	年 月	
(専任・兼任)	年 月	
(専任・兼任)	年 月	
(専任・兼任)	年 月	
(専任・兼任)	年 月	

注1 専任・兼任の区分は、申請者の機関の専任講師である場合のみ専任とすること。

注2 様式5（就任承諾書兼講師要件確認票）の内容をまとめて記載すること。したがって、資格欄は講師要件に規定されている資格のみを記載すればよく、実務経験については、講師要件で指定されている直接援助に従事した期間のみを記載すること。

記入例
(生活援助従事者研修)

講 師 一 覧 (生活援助従事者研修)

No. _____

講師氏名	現職 保有資格 実務経験	科目・項目番号、担当科目
〇〇 〇〇 (専任・兼任)	〇〇〇〇 介護福祉士 介護支援専門員 6年8か月	1. 職務の理解 2. 介護における尊厳の保持・自立支援 8 (4) 生活と家事 8 (5) 快適な居住環境整備と介護
表下の注1参照 (専任・兼任)	表下の注2参照 年 月	担当する科目名を記入してください。 ただし、生活援助従事者研修科目8の「こ ころとからだのしくみと生活支援技術」に ついては、項目名を記入してください。
(専任・兼任)	年 月	
(専任・兼任)	年 月	
(専任・兼任)	年 月	
(専任・兼任)	年 月	
(専任・兼任)	年 月	

注1 専任・兼任の区分は、申請者の機関の専任講師である場合のみ専任とすること。

注2 様式5 (就任承諾書兼講師要件確認票) の内容をまとめて記載すること。したがって、資格欄は講師要件に規定されている資格のみを記載すればよく、実務経験については、講師要件で指定されている直接援助に従事した期間のみを記載すること。